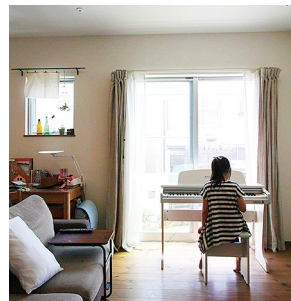


「こんなカフェみたいな家が建てられるんだ」。
家を建てたことで「暮らしが豊かになった」。



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.041
カムホームストーリー
高知市・Mさま邸
竣工:2013年8月
設計担当:福井 美絵



「気持ちは最初からずっと変わらなかった」

今月二人目のお子さんが生まれるというMさま。7歳になるお嬢さんと家族4人の暮らしが始まります。

結婚、出産、次は家づくりと、自然に思いが募っていた頃、勤務先の知人から聞いたタイセイホーム。それまで大きな展示場しか見たことがなく、「ちょっと見に行ってみよう」と完成見学会に旦那さまを誘い出しました。どこか心が落ち着く漆喰の塗り壁や天然木のやさしい風合い。「こんなカフェみたいな家が建てられるんだ」と自然素材の家に心が動いたMさまご夫妻でした。

3ヶ月ほどかけて見つけた土地は、広さも日当たりも立地条件も申し分ない場所。オーバーしていた金額面を山本（お客様サポーター）が交渉し、すべての条件がクリアになったことから家づくりがスタートしました。「気持ちは最初からずっと変わらなかった」と、親しみやすく親身になってくれた山本の対応が大きな信頼につながったと言います。

「料理も片づけも楽しいし、キレイにするようになりました」

白い塗り壁とオリブ色を基調にして、真鍮やシルバーのアイテムでアンティークを演出したMさまのお宅。今年で3回目の夏を迎えました。

仕事に家事に育児に、大忙しの奥さま。間取りは家事動線を真ん中に、仕事をしながらラクにこなせる方法をあれこれ考えました。洗濯物は一階のテラスで干すようにして、取り込んだものはリビングで畳む。そこからすぐ横の脱衣所にしよう動線を一直線につなげました。

広々と動きやすいキッチン背面収納は無垢でオーダーして、キッチン本体は予算を考慮し既製品を選択。「やっぱりキッチンも無垢でオーダーしたらもつと愛着が湧いた」と振り返る奥さまですが、家事をしながらでも家族の笑顔と向き合える大好きな場所です。チェッカーガラスをはめ込んだ小窓、付け梁、お気に入りのガラス照明をふたつ、好きなものをつめ込んだカフェのような空間は奥さまの雰囲気ピッタリ。「料理も片づけも楽しいし、キレイにできるようになりました」と、工夫をちりばめたおかげで時間の短縮ができるようになり、以前より気持ちにも余裕が持てるようになりました。今では友人を呼んでお食事会を開くほど、わが家が大好きなMさまです。

「幸せを感じられる年齢を自分の好きな家で、子どもが小さいうちに過ごせたほうがいい」

帰ってきたら必ず家族の顔が見られるように、リビング階段にしたMさま。「ススめもらって良かった。重宝してます」と、白い塗り壁に合わせた吊り戸で冷暖房の効きも抜群です。

緑々しい植物たちが気持ちのいいお庭は、リビングの南側に。「家の中から自然を感じられるのが好き」という奥さま。春の彩り、夏の蝉、秋の静けさ、冬の恋しさ。窓のフレームを通して四季を味わう毎日。日当たりがよく明るいリビングでお嬢さんは大好きなピアノを夢中で練習します。「ここが苦手」「弾けるようになったよ」「じゃあ次はこれを弾いてみて」。どこにいても目が届き、声をかけ合える距離がうれしい奥さまです。

お家のあちこちにある飾り棚やニッチに並ぶ雑貨は、これまで奥さまが集めてきたお気に入りのものばかり。大好きな雑貨屋さんへ行って新しいディスプレイを考えたり、新しいものが一つ増えるたびに家に帰るのが楽しくなる暮らし。家を建てたことで「暮らしが豊かになった」と言います。もし家づくりを迷うご家族がいるとしたら「幸せを感じられる年齢を自分の好きな家で、子どもが小さいうちに過ごせたほうがいい」と奥さま。一度きりの人生だからと、力強い言葉で背中を押します。